

島 根

吉賀町の未来の医療について発表する
六日市中の3年生



吉賀町の医療将来は

六日市中生が改善案発表

六日市病院(吉賀町)が開院記念日の11日、六日市基幹集落センターで開いた式典で、地元六日市中3年生11人が「吉賀町の未来の医療」をテーマに発表した。

生徒は、町内の救急搬送の7割以上を高齢者が占める現状などを事前に学習。それぞれ

学校や公民館に応急治療などの医療機能を設ける案を発表した中、村涼香さん(14)は「お年寄りは病院通いが大変。近くで医療が受けられる環境が大事だと思う」と話していた。

町内で唯一、入院と

(江川裕介)

が考えた地域医療の将来像について、順番に発表した。

発表では、医療従事者の不足を指摘し、Uターンを条件に外国で最先端医療を学ぶ費用を援助する制度や、病院のナースコール機能を1人暮らし世帯にも設置するなどの案が出た。